

2 令和元年度の水質概況

平成 30 年度の冬は積雪が少なかったこともあり、豊川水系ではダム貯水量の減少がみられたが、その後の降雨で回復した。また、ダムや貯水池での藻類の増殖や降雨による原水臭気異常等が発生したため、活性炭処理を行った浄水場があった。

1) 浄水

浄水場浄水池・供給点の全地点について、省令で定める水質基準に適合していた。

2) 工業用水

安城浄水場及び蒲郡浄水場の配水について、愛知県工業用水給水規定に定める水質基準のうち水温が超過していたが、その他の浄水場については水質基準に適合していた。

3) 原水及び浄水場原水

(1) 木曾川(木曾川・長良川)水系

入鹿池で夏季から秋季にかけて藍藻類 *Phormidium tenue* が確認され、カビ臭物質の 2-MIB が検出されたため、浄水場で活性炭処理を実施した。

愛知池で春季にろ過閉塞原因種の珪藻類 *Asterionella formosa* が増殖したが、浄水処理に問題はなかった。また春季に矢作流入地点と底層で黄金藻類 *Uroglena americana* による生ぐさ臭が感じられたが、浄水場原水に影響はなかった。

(2) 矢作川水系

矢作ダムで春季に黄金藻類 *Uroglena americana* による生ぐさ臭が感じられ、浄水場で活性炭処理を実施した。

羽布ダムで春季から夏季にかけてろ過閉塞原因種の珪藻類 *Asterionella formosa* が増殖したが、浄水処理に問題はなかった。

(3) 豊川水系

宇連ダムで春季に生ぐさ臭が感じられたものの、原因となる藻類は確認されず、浄水場原水に影響はなかった。

駒場池で春季に黄金藻類 *Uroglena americana* による生ぐさ臭が感じられ、浄水場で活性炭処理を実施した。秋季にも *Uroglena americana* が確認されたが、臭気は藻臭であり、浄水場原水に影響はなかった。夏季には藍藻類 *Oscillatoria splendida* が確認され、カビ臭物質のジェオスミンが検出されたが、浄水場原水に影響はなかった。

三ツ口池で春季、夏季及び冬季にカビ臭物質のジェオスミンが検出されたが、原因となる藻類は確認されなかった。秋季には藍藻類 *Phormidium tenue* が確認され、カビ臭物質

の 2-MIB が検出された。いずれも浄水場原水に影響はなかった。また、秋季から冬季にかけて黄金藻類 *Uroglena americana* による生ぐさ臭が感じられ、一時的に浄水場で活性炭処理を実施した。

万場調整池で秋季に凝集障害の原因となる緑藻類 *Staurastrum sp.* が増殖し、その後ろ過閉塞原因種の珪藻類 *Aulacoseira granulata* と *Melosira spp.* が増殖した。また、冬季にろ過閉塞原因種の珪藻類 *Fragilaria crotonensis* が増殖した。いずれも浄水処理に問題はなかった。

4) 放射性物質検査

全地点で放射性物質は検出されなかった。